

学校給食交流で提供される奈良市の郷土料理

(写真：奈良市提供)

奈良の茶飯



寺社が有する領地から、税として納められた茶葉を煎じて少量の塩とともに米を炊き、濃い一番茶につけて食べていたと言われます。

給食で提供するのは、米に奈良県産のほうじ茶の粉末を加えて炊いたごはんです。

かしわのすき焼き



「かしわ」とは、鶏肉を指す関西地方の方言で、鶏の羽の色が色づいたカシワの葉に似ていることが由来とされています。

奈良市では古くから、祝いや祭りの日に、かしわをすき焼きにして食べる風習があります。

食文化を通じた交流
「学校給食交流」を行います
姉妹都市提携50周年を記念して、次代の交流を担う子ども達に、互いのまちの代表的な食や食文化を学んでもらうため、11月8日に、学校給食交流を行います。
両市で郷土料理のレシピや食材などを交換し、アレンジした献立を給食で提供します。
本市では、「奈良の茶飯」「かしわのすき焼き」が提供されます。

給食を通じて、その地域を身近に感じることは、食文化を学べるいい機会だと思います。

今後も子ども達の豊かな食生活の積み重ねをサポートするため、子ども達に寄り添った工夫や献立作りに努力してまいります。

奈良市立興東小学校
学校給食調理員 有馬明代さん



奈良公園 (写真：奈良市提供)

蘇洞門

奈良市と小浜市は

姉妹都市提携 50周年を迎えます

■問い合わせ 文化交流課 ☎ 64・6019

奈良市ってどんなまち？

奈良市は、奈良県の北端に位置し、人口約35万人が住まう、同県の県庁所在地です。

奈良時代に、都である「平城京」が置かれた日本を代表する古都であり、東大寺をはじめとした8つの文化遺産郡が「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録されている、国際文化観光都市です。



かつての平城京の中心、「平城宮跡」。「古都奈良の文化財」として、世界遺産に登録されています(写真：奈良市提供)

また、奈良はシルクロードの終着点として、海外から当時最先端の文化を取り入れ発展しました。こうして伝わった文化を元に、茶やうどん、清酒、まんじゅう、豆腐など、現代の私たちにもなじみ深い日本食文化の発祥の地でもあります。

小浜と奈良のつながり

本市の神宮寺(神宮寺)で毎年3月2日に行われる「お水送り」では、鶴の瀬に「お香水」と呼ばれる水がそそがれます。



お水送りの送水神事 (令和3年3月2日・鶴の瀬)

この水は、10日間かけて東大寺(奈良市)の若狭井へ辿り着くという伝説があります。若狭井でくみ上げられたお香水は、東大寺の伝統行事「修二(しゆに)会(お水取り)」で使われます。

今も続く互いの交流

小浜は古くから、「御食国」として都へ食材を運び、中国大陸や朝鮮半島からの文化を伝えるなど、国内外の交流拠点として栄えました。こうして育まれた両市の交流は、姉妹都市となつてからも絶えることはなく、官民を問わない交流が今なお続いています。



小浜市・奈良市親善剣道交流大会記念式典 (令和3年8月29日・白鬚)

一人でも多くの人に奈良市のことを知ってもらうため、抽選で15人に奈良市の名産品をプレゼントします。これを機に、奈良市の食や文化に触れてみませんか。

A賞



清酒発祥の地 奈良の地酒 720ml (4人)
※いずれか1本、未成年は応募不可

B賞



奈良の贈り物認定 「御門米飴」 300g (5人)

C賞



伝統的な手法で製造した奈良漬 (5人)

D賞



無農薬・有機栽培で作った大和茶セット (1人)

クイズの正解者に抽選で 奈良市の名産品をプレゼント!

クイズ

11月8日に小浜市の学校給食で提供される「かしわのすき焼き」。さて、かしわとは何の肉でしょうか。
①とり ②うし ③いのしし

応募方法

はがきに「住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの回答・希望賞品(右のA賞～D賞のうち1つ)」を記入の上、下記まで郵送してください。
11月30日必着。
〒917-8585
小浜市大手町6番3号 小浜市役所 文化交流課 奈良市名産品 プレゼント担当 宛
※当選者の発表は、連絡の上、12月末までの商品発送をもって代えさせていただきます